

ピースポート災害ボランティアセンター
2014年8月台風12号、11号被害 徳島県阿南市 活動レポート

作成:2014/9/30

2014年8月2日に四国へ上陸した台風12号は、高知・徳島の両県にまたがり1500戸を超える家屋への浸水被害をもたらしました。PBVでは被害発生の情報を得て先遣スタッフを派遣し徳島県、高知県の現地状況の調査を開始しました。

PBVでは2013年度に徳島県内の3つの社会福祉協議会より依頼を受け、災害ボランティア研修を実施してきました。その際の繋がりから徳島県や市区町村社協からの情報を元に四国最東端にある阿南市、徳島の最南端に位置する海陽町など、被害のあった地域の被害状況や災害ボランティアの活動状況を調査しました。また2014年2月に実施された広域大規模災害訓練・高知での繋がりから、高知県ボランティアNPOセンターからの情報提供も受けての調査となりました。



先行して上陸した台風12号の被害では、徳島県海陽町へ対し床上90戸、床下275戸の家屋へ被害が発生。また隣接する阿南市でも床上106戸、床下415戸への住宅被害が発生しました。海陽町の被害は堤防の決壊や河川の氾濫被害とは違い、河川の水門を基準に伴い閉めたことにより雨水の排水が追いつかず土地の低い家屋が浸水してしまった状況でした。土砂が家屋へ入り込むというよりは、雨水が家屋内に浸水し、畳や家財道具などが被害を受けており、外観からは被害の様子はわかりにくい状況でした。同様に阿南市でも同様の被害が見てとれました。

地元社協では台風12号被害へ対しての災害ボランティア活動の体制作りは素早く、海陽町では8月4日より災害VCを設置し外部支援の受入を表明しました。また阿南市でも同日より災害ボランティアセンター(以下:災害VC)を設置し災害発生前から構想されていた地元NPO約80団体との協働で災害VCが設置され対応を行っていました。



PBVでは、被害状況や地元社協からの要望により海陽町へ対しての支援を検討しましたが、徳島県内での社協間応援体制が充実している事や、災害ボランティアの公募状況が充実していることから支援を保留し、高知県の状況確認を行うと共に、次に迫る大型の台風11号の通過を待つこととなりました。



発生の順序とは前後する形で8月9日に上陸した台風11号は、再度四国地方へ甚大な被害を発生させました。徳島県海陽町では、12号の教訓を活かし床上3戸・床下被害21戸と。前回の被害を下回りましたが、阿南市へ対しては12号の被害に並ぶ床上152戸、床下306戸と非常に甚大な被害が発生しました。それに伴い、徳島県社協や地元社協からの要請を受け、PBVでは阿南市災害VCへの支援を決定。8月12日～15日までの期間で現地災害VCの運営サポートとしてスタッフ2名、ボランティア4名、のべ19名で支援活動を実施しました。

活動は浸水被害を受けた全家屋へ対し、県内からの応援社協と共にニーズ調査を実施。文字情報だけではなく地図へ記載する等、可視化した情報を提供していきました。災害VCは20日までの活動を行うことを決めていましたが、地元社協や団体での運営が可能だと判断したことから、PBVでは15日までの支援活動を実施しました。



今回の支援には東京海上日動火災保険株式会社「Shere Happiness 倶楽部」様からの災害対応費をはじめ、震災がつなぐ全国ネットワーク事務局より活動費の助成、多くの個人の皆様からのご寄付を頂きました。また、阿南市社会福祉協議会の協力のもと加茂谷総合センターを宿泊場所として提供頂くと共に地元行政、民間の皆様からのご協力を頂きました。また現地で共に活動を行った徳島県内の社会福祉協議会や被災地NGO協働センター、多くのボランティアの皆さまに支えられた支援となりました。まことにありがとうございました。